

# 第 10 期 江戸川区内マンション協議会

## 第 6 回 役員会議事録

日時：2018 年 6 月 24 日(日) 午後 2 時から午後 4 時 00 分まで

場所：葛西区民館 3 階集会室第 5・6

出席者：(敬称略)

※印 個人会員

宇喜田カメラ	大沢、遠山	宇喜田住宅	塚本、関守、大井
宇喜田ホームズ	×	葛西第 2 スカイハイツ	湖崎
葛西パークサイドハイツ	高橋	コンドミニアム葛西	×
シティコープ西葛西	×	ゾンネンハイム葛西	畑山、川戸
なぎさニュータウン	森川、	西葛西ハイツ	渡辺、大塚
ハイコーポ長島	竹内、	バームハイツ西葛西	関根
南篠崎スカイハイツ	藤澤、横田	ライオンズマンション小島町	戸谷・久保田、 山野井
アリーナコースト	奥田	事務局	永田
※小松川まちづくり協議会	×	※メゾリバーサイド高層棟	×
※ライオンズマンション船堀第 3	×	※日神パレステージ 船堀	岸本
※グランシティ東葛西	×	※イーストセブンヒルズ	橋本
※ライオンズマンション平井駅前	谷		

以上、全 15 管理組合中、11 管理組合が出席(役員会は成立)。

(議事に入る前に連絡等)

※葛西第 2 スカイハイツ湖崎氏より、6 月に発刊された「マンション給排水モデル事例集」という書籍を協議会で一括購入しませんか？との提案あり。(事例としてゾンネンハイムさんの工事に関する記事が載っている) ➡出席者に確認したところ、反対する人はなし。購入する事になった。

※シティコープ西葛西 管理室より連絡があり、1 年間休会したいとの申し出があったことを報告。

### 1. マンション防災に活動の報告と今後の進め方について (アリーナコースト 奥田氏)

配布された資料に沿って、奥田氏より説明

・大阪北部地震を受けて “首都圏に近いうちに大地震が起きてもおかしくない” という危機感や、“今住んでいるマンションは大丈夫なのか” “起きた時にどうなるのだろうかという “不安が高まっています。このような意識が高まるときに、対策を打ち防災を進める必要があると考えています。

・2017 年度は、ホームページを作成し情報発信・加入組合向けの防災アンケートを元に、アンケート結果や防災活動の課題を共有・葛西のマンションで、防災コミュニティ導入について検討・西葛西小学校の地域防災検討会の課題の共有を行いました。

2018 年度は、江戸川区内マンション協議会で進めるマンション防災活動の進め方をまとめたいと考えています。

- ・活動の目的は、首都圏直下型地震に備えた防災マンションを江戸川区に増やすこと。実現することは、江戸川区の地域のマンションの防災を次のステージに進化させ、防災モデルマンションの取り組みが江戸川区にモデルとして広がっていること。
- ・防災モデルマンションとは、マンションに必要な防災体制の構築がされていて(人材と推進組織)、被災した際に想定される必要な対応が取れるようになっている(行動計画と実践)もの

- ・モデル作りの計画として、MALCA などの組織と連携することも一つの手段である。資格認定制度などを活用して人材育成を目指す。
- ・事業を推進するためのコアメンバーを募集する。➡協議会に加入している管理組合から 1-2 名程度をプロジェクトメンバーとして募集する。
- ・募集したメンバーで 9 月から開催する。プログラム研修の実践  
各組合の窓口となる組織はあるのか➡規模の大きいマンションは殆ど防災委員会的な組織がある。
- ・事業を推進するためには資金の問題も出て来るので、ファンドレイジングなどの方法も検討する。但し、これを行うためには協議会そのものを法人化（一般社団法人）する必要がある。これは江戸川区との事業連携の面でも有用である。➡法人化するために現実的なハードルもあるので、要検討。

#### 【各組合より状況報告】

（葛西パークサイドハイツ 高橋氏）

地域の防災活動に管理組合として参加（訓練など）。避難所運営等についても地域で話をしている。

（南篠崎スカイハイツ 藤澤氏）

防災委員会を立ち上げた。

（宇喜田住宅 関守氏）

防災担当者は決まっている。主に訓練等の担当。防災の講演などを予定したい。

組合と自治会が一体。備蓄品はあるがすぐに配れる状態ではない。予算に応じて今後物品を買い足していく予定。勉強したい。

（ライオンズマンション小島町 戸谷氏）

担当、組織図はあるが、あくまで防災訓練実施のためとなってしまう。

実際の活動への意識が少ない。東日本大震災の後は少し気運が盛り上がった。

具体的な行動を起こすには、それを動かす組織作りが必要。

安否訓練が弱い。レベルを高めた訓練が必要。

（葛西第 2 スカイハイツ 湖崎氏）

防災担当理事がいるが、毎年変わる。自主防災組織として 8 月に防災訓練実施。春先から防災訓練まではそれに向けての活動があるが、それ以外の普段の活動は何もない。

（バームハイツ西葛西 関根氏）

防災委員会、継続的に存在する。基本的に備蓄は作らない。個人で用意するように呼び掛け。

最低限の備蓄は必要なのかなと考えている。色々な備品・・・とりあえず購入したがどれだけ活用出来るのかまでは考えが及んでいない。今回のプログラムが進むことを期待している。

（宇喜田住宅 関守氏）

訓練の参加人数が少ない。訓練の内容も問題。体の弱い高齢者は難しい。

室内への館内放送の必要性。遮音性が上がったため何も聞こえない。

（西葛西ハイツ 渡邊氏）

3 つの組織の下に防災委員会。備蓄品 3 日分程度ある。災害対策本部の立ち上げも OK。

避難訓練 7 月に実施予定。三葛西小の訓練にも参加。年間の防災対策費は約 100 万円で、その中から各家庭への消火器の配布も行った。

（ライオンズマンション平井駅前 谷氏）

水害が心配。理事長が替わると何も分からない。

(イーストセブンヒルズ 橋本氏)

防災については何もない。

(日神パレステージ 岸本氏)

自治会もないし、防災の組織もない。

※30戸程度の戸数のマンションでは何も出来ないとの意見あり。

※水道管などのインフラの耐震性の情報を掴む必要あり。団体として行動を起こした方がスムーズに行くのでは？

## 2. 今後の予定について

- ・4K8Kへの対応の問題（既存のTV受信システムの更新を含めて）を取り上げたい。

7月または9月の役員会でミニセミナー的な口座を予定したい。（全員 賛同）

- ・10月に行う協議会総会は本来であれば10月28日に実施だが、会場（なぎさニュータウン）の都合で10月28日が使えないため、1週間倒しして10月21日で予定したい。

（議事録作成 事務局 永田）